

PM 学会 2025 年度中部支部シンポジウム 特別講演の概要



特別講演 1： アクシスインターナショナル(株) 中谷 公巳氏

●AI 時代のプロジェクトマネジメント ～AI x 人の共創が導く、進化と価値創出の可能性～

AI 技術の進展により、プロジェクトマネジメントは予測分析、意思決定支援、リソース最適化といった領域で急速な進化を遂げています。人間との協働によって、不確実性下での判断精度や価値創出力も高まりつつあります。本講演では、AI と人の共創による戦略的意思決定や PMO 支援のあり方を、活用領域、導入アプローチ、運用上のリスクとガバナンスの視点から具体的に考察します。

<登壇者紹介>

アクシスインターナショナル株式会社 代表。組織開発、サイバーセキュリティ、システム監査の分野でコンサルティング、導入、展開、教育、調査・研究などのサービスを展開。通信・IT 業界を中心に国内外で 25 年の実務を経験。PMI、ISC2、CompTIA、Peoplecert の国際認定インストラクター。PMP、CPMAI+E、Scrum Professional、PRINCE2、CISSP、CBAP ほか 100 以上の資格を保有。立教大学文学部史学科卒。MIT Sloan Executive Education「Artificial Intelligence: Implications for Business Strategy」修了。著書に『[AI 時代のプロジェクトマネジメント](#)』、『[PMBOK 第 7 版実践活用術](#)』、『[アジャイル型プロジェクトマネジメント](#)』（日本能率協会マネジメントセンター）がある。



特別講演 2： (株)レヴィ 三浦 政司氏

●プロジェクトを成功に導く人材を育てる ～システム工学の視点から～

プロジェクトが対象とする問題・状況・環境がますます複雑化していく中、プロジェクトを成功に導くためには、複雑なシステムを理解して上手く扱うための知恵である「システム工学」の視点が重要となってくる。本講演では大学・企業・国研においてシステム工学を実践、指導してきた講演者の立場から、プロジェクトマネジメント人材の育成について議論し、これまでの実践例を紹介する。

<登壇者紹介>

東京大学工学部を卒業後、学籍を総合研究大学院大学に移し、JAXA 宇宙科学研究所にてロケット工学の研究に従事。2011 年より鳥取大学に教員として赴任し、分散協調制御やシステム工学の研究に従事する傍ら、ロボット開発などをテーマとした PBL 型工学教育に取り組む。2021 年より JAXA 宇宙科学研究所の准教授に着任し、宇宙機システムの研究開発に従事する。株式会社レヴィおよび株式会社ロケットリンクテクノロジーの共同創業者として、システム工学やロケット工学をビジネスの場でも実践している。



特別講演3：（株）クレドコラ 加藤 京子氏

●新時代のマネジメント転換術

変化の激しい今、上司は「厳しさ」と「優しさ」の間で揺れ続けています。もう“昭和的な上司像”は通用しません。要求されている事柄（ダイバーシティ、多様性と変革への対応等）は多岐に亘るのに、制限されている内容（ハラスメントやコンプライアンス遵守等）は結構オモタイ…これが、「令和の部下育成」を難しくしている構造と思われます。今回は、チームを動かすための「正解」を探すのではなく、現代のリアルに合った「実践」のヒントを持ち帰っていただきます。

<登壇者紹介>

株式会社クレドコラ（credocara）代表。青山学院大学文学部フランス文学科卒業、日商岩井株式会社（現 双日株式会社）入社。現在 H・Rサポート社会保険労務士事務所設営（東京都港区）。研修講師としては、現場の“上司の声なき声”に耳を傾け、企業・自治体向けに研修・を多数実施している。著書『[Z世代に嫌われる上司 嫌われない上司](#)』（ぱる出版）、『[部下からの逆パワハラでもう無理と思った時に読む本](#)』（日本能率協会マネジメントセンター）がある。